

校長室だより

第 7 号

令和8年9月30日
大阪市立新東三国小学校
校長 濱田 良一



◇修学旅行へ行ってきました◇

9月17日(木)18日(金)の日程で、6年生は広島県へ修学旅行へ行ってきました。

新東三国小学校では修学旅行では「平和学習」として、広島県へ行っています。

- ・青少年センター(原爆被害伝承者からの講話)
- ・平和記念公園
- ・平和記念資料館
- ・袋町小学校



上記の施設を訪問し、

原爆の恐ろしさ、そして原爆によって引き起こされた様々な悲しい出来事を教わり、そして「聞き・見て・話して・考えて」きました。

教科書や映像などで学習して知識として知っていることはたくさんあったでしょう。しかし、「百聞は一見に如かず」と言うように、81年前の原爆投下によって壊滅状態であった広島が復興を遂げた現状を実際に見て、平和な現在がどれだけ大切なのかわかったのではないのでしょうか。



「学ぶところはしっかり学び、楽しむところはしっかり楽しむ」
6年間一緒に過ごしてきた友だちと一泊を共にして楽しむのも修学旅行の醍醐味です。

夜は宿舎の大広間でレクリエーションで盛り上がりました。この時間のために、出演者を募り、練習をし、みんなと楽しむ時間を作ってくれました。

みろくの里では、アトラクションを楽しみ、自分たちで昼食を選んで食べて、お土産を買って、ここでも楽しい時間を過ごしました。

帰ってきた子どもたちは疲れてはいましたが、とてもいい顔をしていました。お家の方にはたくさんお土産話をしてくれたと思います。

小学校生活の一つの思い出になってもらえたら、と思います。

修学旅行の様子は、本校ホームページでもご覧いただけます。

◇ご心配をおかけしました◇

夏休みも終わろうとしていた8月20日(木)、頭痛・悪寒・発熱の症状があり、病院へ行くと熱中症の診断を受けました。

薬を飲んだら熱も下がったので、しばらく安静にして、24日(月)出勤したのですが、左手・左足が激しい痛みとともに腫れ上がってきました。夜中に夜間外来をしている病院で診てもらったところ、「このまま入院してください」と言われ、スマホと財布だけ持って入院しました。

いろんな検査を行ったのですが、炎症の数値だけが健康であれば0.0~0.4の値ですが37という数値でした。(熱中症による高熱から、炎症を引き起こすことがあるそうです。)

10日間ほど、左手は痛みで動かすことができず、左足も触れただけで激痛が走る状況で、松葉杖を使って歩いていました。時には看護師さんをお願いして、車いすで運んでもらうこともありました。

痛みも大分引いて、投薬とりハビリで様子を見て行くと病院から説明を受け、9月14日(月)より職場復帰をしました。医療従事者の皆さんには頭が下がる思いです。

2週間近く左手・左足を使っていなかったことで、筋肉が固まってしまい、左手もいまだにじゃんけんのグーをちゃんと作ることができません。

杖を持って登校時に門に立っていたので、子どもたちをびっくりさせてしまいました。ですが、たくさん子どもから「校長先生、大丈夫なん？」と温かい声をかけてもらいました。

保護者の方からも「大丈夫ですか?」「無理しないで」と声をかけていただきました。大変、ご心配とご迷惑をおかけしました。

このこともあり、今回の修学旅行も、教頭に代行してもらいました。

熱中症がとても怖いものだと知りました。子どもたちはこれから運動会の練習が本格化していきます。水分をしっかり取る。のどが渇いてなくても、少しでも水分を取るように言ってください。